

2012/5/23

マイクロスケール実験テキスト

実験10:鉛化合物 ～沈殿反応と顔料～

中央大学工学部応用化学科
分光化学システム研究室

実験の目的

- ◆ 鉛化合物の多くは不溶性であり、その一部は明るい色をしていることを観察する。

実験器具・試薬

器具

1. プラスチックピペット
2. ワークシート
3. プラスチックシート (クリアファイル、OHPシートでも代用可)

試薬類

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 水酸化ナトリウム | 9. 純水 |
| 2. 硝酸鉛 | 10. 水道水 |
| 3. ヨウ化カリウム | |
| 4. 塩化ナトリウム | |
| 5. 臭化カリウム | |
| 6. 炭酸ナトリウム | |
| 7. 硫酸ナトリウム | |
| 8. クロム酸カリウム | |

実験手順 実験10-1

1. プラスチックシートをワークシートの上へのせる。
2. ワークシートの枠内に硝酸鉛水溶液を数滴ずつ滴下する。
3. 枠の上に書いてあるイオンを含む溶液を加えるため、左から順に水酸化ナトリウム水溶液、塩化ナトリウム水溶液、臭化カリウム水溶液、ヨウ化カリウム水溶液、炭酸ナトリウム水溶液、硫化ナトリウム水溶液、クロム酸カリウム水溶液を先ほど滴下した硝酸鉛水溶液に数滴ずつ滴下する。
5. 溶液の変化を観察する。

実験手順 実験10-2

6. ワークシートの実験10-2の枠内に硝酸鉛水溶液を数滴ずつ滴下する。
7. 左側の溶液に純水、右側の溶液に水道水をそれぞれ加え、溶液の変化を観察する。

ワークシート

実験10-1

	水酸化物 イオン	塩化物 イオン	臭化物 イオン	ヨウ イオン	炭酸 イオン	硫化物 イオン	クロム イオン
鉛イオン 水溶液							

実験10-2

	純水	水道水
鉛		